

令和6年度唐津赤十字病院年報の発刊にあたって

令和6年（2024年）の病院年報が完成いたしました。令和6年度は、野球大リーグでの日本人選手の活躍が話題になりました。特に昨年に引き続いて大谷翔平選手が2年連続の本塁打王を獲得すると共に、盗塁を合わせた50-50を達成し、3度目のMVPを獲得するなど大活躍でした。さらに7月のパリオリンピックでは、男子体操での金メダル、陸上での北口選手の金メダルなどの活躍があり海外開催のオリンピックでのメダル45個と最多を記録しました。また20年ぶりの新紙幣の発行や、衆議院選での与党の過半数割れ、岸田首相より石破首相への首相交代などがありました。

一方で、令和6年は、1月の能登半島震災、羽田空港での日航機と海保機の衝突・炎上事故、8月には宮崎県日向灘地震後に「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表され、9月には能登地方の豪雨災害、また猛暑・豪雨・突風災害など、災害・事故が頻発した一年でした。世界的にも、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの戦闘状態の持続、記録的な猛暑と温暖化に伴う気候変動など心配な情勢は続いています。能登半島震災においては、当院よりも救護班3班・災害医療コーディネートチーム1班が出動しました。災害・事故などは、必ず起こるものとして、赤十字病院として求められる救護活動に関して、日頃からの準備・訓練が重要であると、改めて再確認させられました。

また当院の経営状況は、新型コロナ対応後の入院患者数回復が十分でなく、また物価高騰に伴う医業支出の増大に対応する十分な診療報酬の改定が無い事により、令和5年度より続く赤字経営の改善は、残念ながらまだ得られていません。

しかしながら、このような状況下においても、当院に求められる、救急医療、がん医療、小児周産期医療、少子・高齢化社会における地域医療への対応、日本赤十字社の重要な使命である災害等への救護・支援などの多くの役割を果たし、地域医療・社会に貢献して行く当院の役割は、変わることなく大きいと考えています。

本誌では、1年間の各診療科・各部門の活動実績、診療実績、学会活動、業務改善活動等を、まとめ集計しております。当院の病院活動の集計であり、当院医療の質的改善の指標として重要であると共に、その結果が職員の職務遂行における励みとなる事を期待してご挨拶とさせていただきます。

令和7年9月29日
唐津赤十字病院
院長 宮原 正晴



唐津赤十字病院の理念

「安心な医療」
「あたたかい看護」
「地域への貢献」

基本方針

- ① 患者さんの人権を尊重します。
- ② 質の高い医療と看護を提供します。
- ③ 救急医療やがん医療の充実に努めます。
- ④ 地域医療連携を推進します。
- ⑤ 災害救護に貢献します。
- ⑥ 健全で安定した経営基盤を確立します。

患者さんの権利

- 1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 2. 治療や検査に関して、理解できるまで説明を受け、ご自身で決定する権利があります。
- 3. 医療機関を選択し変更する権利、他の医師の意見（セカンド・オピニオン）を聞く権利があります。
- 4. ご自身の医療情報を知る権利があります。
- 5. プライバシーが守られる権利があります。
- 6. 個人の尊厳が尊重される権利があります。

医療バランスト・スコアカード導入について

当院では、平成8年度から5次にわたり経営改善計画等を策定し、経営基盤の強化と医療の充実の両立を目指してきました。

病院経営を取り巻く状況は刻一刻と変化しており、2025年や2040年を1つの区切りとして、医療福祉のあるべき姿が「地域包括ケアシステム」として周知されています。当院においても、佐賀県保健医療計画における当院の役割を自覚し、経営方針を立てていくことが求められます。また、近年の診療報酬改定では、病院の機能分化が推進されており、要件の厳格化およびマイナス改定など、厳しい状況が続きます。

このような状況下で、当院が担うべき医療を積極的に展開していくために、医師をはじめとする医療スタッフの役割は大きく、長期的な視座のもとスタッフ確保に尽力してきた結果、職員数は平成20年度（424名）から200名近く拡充することができました。

600名を超す職員を抱える病院において、しばしば課題となるのは、職員間の意思疎通が希薄化することです。これは、職員数の増大のみならず、国家資格の有資格者による多職種協働という病院特有の事情が影響しています。

このような課題に対して、当院では従来の3～5年にわたる経営改善計画の策定・周知では、安定した病院経営を持続できないと判断し、医療バランスト・スコアカード（以下「BSC」）を平成26年度より本格導入するに至りました。

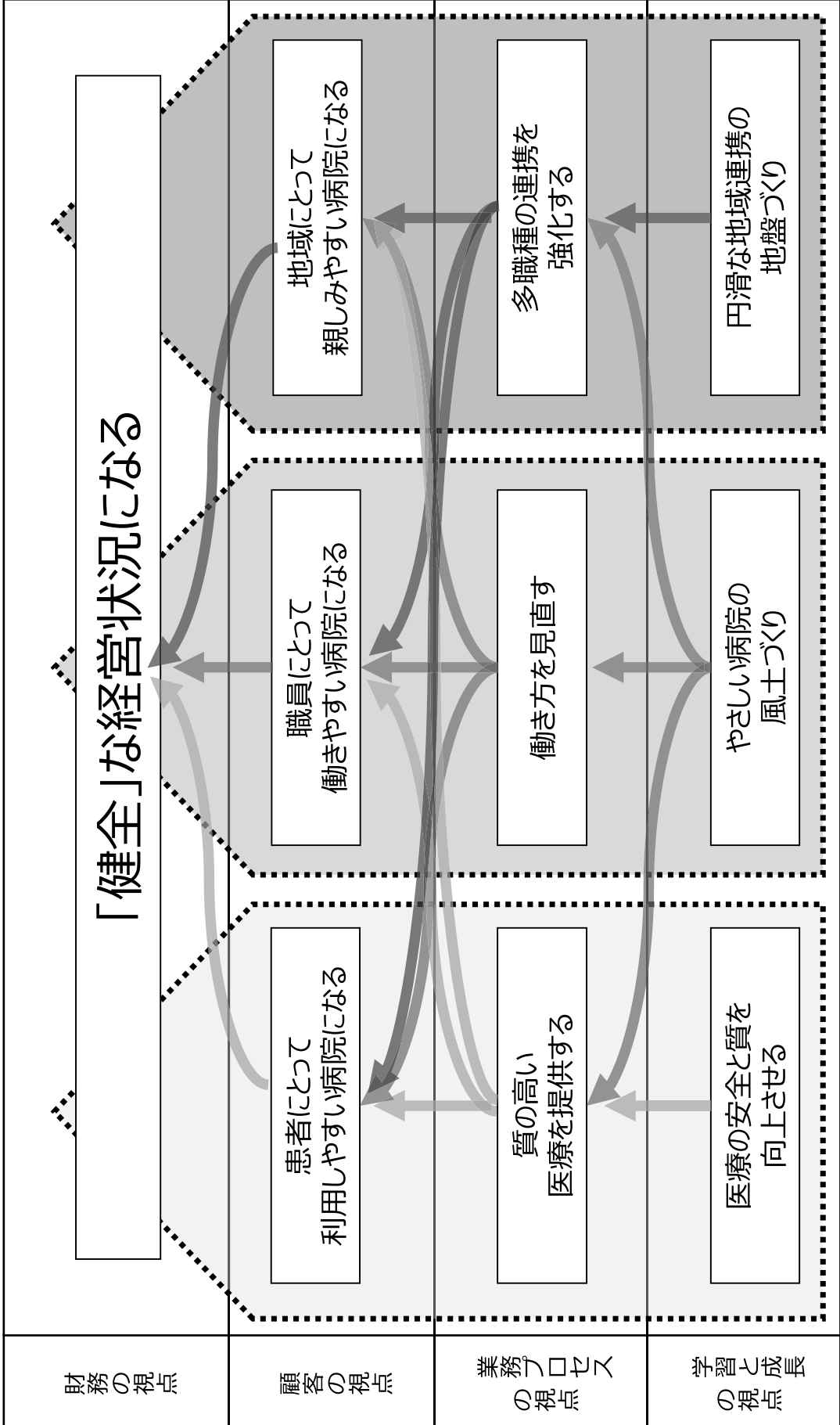
BSCの運用においては、病院BSCのスコアカードを年度初めに作成・周知し、院内各部署による各部署BSCのスコアカードを作成しています。その後、院長ヒアリングを通じて、各部署との意思疎通を図り、中期評価、年度末評価を行うことで、各部署の業務改善の進捗状況を管理しています。

令和 6 年度病院 B S C

○戦略マップ

○スコアカード

ミッション：「安心な医療」「あたたかい看護」「地域への貢献」
ビジョン：「人・地域・時代に選ばれ続ける病院」



I 病院の概況

1. 唐津赤十字病院の変遷

昭和32年	10月	唐津赤十字病院開設 内科、外科、小児科、理学診療科 4科 〈一般 46床 結核 214床 計 260床〉
昭和33年	1月	産婦人科開設
	10月	耳鼻咽喉科開設、理学診療科を放射線科に変更
	11月	整形外科開設
	12月	気管食道科開設
昭和35年	6月	唐津市伝染病棟 30床併設 一般 35床増床 〈一般 121床 結核 142床 伝染 30床 計 293床〉
	7月	一般 3床 結核 2床増床 〈一般 124床 結核 144床 伝染 30床 計 298床〉
	10月	眼科開設〈総合病院承認〉
昭和39年	2月	ラジウム治療室 2床増床 〈一般 126床 結核 144床 伝染 30床 計 300床〉
昭和42年	4月	東松浦郡伝染病棟 30床併設 〈一般 126床 結核 144床 伝染 60床 計 330床〉
昭和44年	3月	結核 74床を一般病床へ変更 〈一般 200床 結核 70床 伝染 60床 計 330床〉
昭和45年	2月	救急告示病院指定
	12月	唐津市助産施設 3床増床 〈一般 203床 結核 70床 伝染 60床 計 333床〉
昭和46年	8月	理学診療科開設
昭和48年	4月	心療内科開設
昭和54年	1月	病院改築着工
昭和55年	3月	病院改築第1期工事完工
	6月	皮膚科開設
昭和56年	2月	病院改築竣工（S54.1～S56.1）
	4月	病院群輪番制病院指定
	6月	泌尿器科開設
昭和57年	4月	脳神経外科、神経内科開設
	11月	病床変更 結核 70→30床、伝染 60→30床、70床を一般病床へ変更 〈一般 273床 結核 30床 伝染 30床 計 333床〉
昭和58年	4月	歯科開設
	6月	血液透析開始
昭和63年	4月	麻酔科開設
	9月	ICU・CCU、救急処置室等増築工事竣工
平成元年	4月	一般 10床増床〈一般 283床 結核 30床 伝染 30床 計 343床〉 医事システム運用開始
平成3年	3月	リハビリテーション等棟竣工
平成4年	3月	2階西病棟改修竣工（小児病棟）
平成5年	3月	一般 30床増床〈一般 313床 結核 30床 伝染 30床 計 373床〉
	5月	「経営改善委員会」設置
	6月	HIV感染症に関する中核医療機関指定
	11月	HIV感染症に関する地域中核医療機関指定（同上の要領変更による）
平成6年	3月	互助会設立
	4月	結核病床 30床休止
平成7年	11月	外来診療録ジャストサーチシステム導入

I 病院の概況	平成8年	4月	「経営改善実施計画」スタート（県、市町村補助開始）
		6月	初診料特定療養費届出（紹介患者Ⅵ）
		10月	手術室（中央材料室）改修工事、血液透析室移転工事竣工
		12月	ICU新設工事、外科・脳外科外来移転工事竣工、中央処置室運用開始
	平成9年	1月	ICU届出（第3号）
		2月	2階東病棟改修工事竣工
		3月	新看護届出（第72号）、血管造影室（一般、心臓カテーテル）竣工
		4月	心臓カテーテル検査運用開始
		7月	5階病棟改修工事竣工
		9月	院外処方箋発行開始
II 統計		11月	地域災害医療センター（地域災害拠点病院）指定
		11月	オーダリングシステム（処方）、医事、薬剤システム運用開始
	平成10年	1月	結核病床 30床廃止 〈一般 313床 伝染 30床 計 343床〉
		4月	「臨床研修病院」指定
		4月	呼吸器科、消化器科、循環器科開設 気管食道科廃止
		4月	再来予約オーダ運用開始
		6月	駐車場有料化
		9月	病棟オーダ、検査オーダ、検査部門システム、給食部門システム運用開始
		12月	検査予約オーダ・SPDシステム運用開始
	平成11年	4月	感染症医療機関指定（伝染 30床 → 感染症 4床） 〈一般 313床 感染 4床 計 317床〉
III 各部門の概況		4月	心療内科休診
		8月	「診療録管理室」設置
		10月	医療事故防止マニュアルの策定（リスクマネジメント）
	平成12年	1月	「診療情報の提供に関する要領」策定
		4月	旧病棟（伝染病棟）解体
		5月	駐車場40台分増設
		9月	MRI更新、「地域医療連携室」運営開始
		10月	システム運用による院外処方箋発行開始
		12月	無菌手術棟増築工事竣工
	平成13年	1月	初診料特定療養費の変更（750円 → 1,050円）
IV 論文		3月	電話交換機更新、院内PHS導入
		4月	「経営自立3カ年計画」スタート
		7月	新看護2：1体制届出
	平成14年	1月	外来診療録1患者1診療録運用開始
		10月	ホームページ開設
		11月	ラジウム治療廃止
	平成15年	2月	新病棟増築工事竣工、受水槽移設工事完成
		4月	一般病床 20床増床 〈一般 333床 感染症 4床 計 337床〉
		4月	南病棟運用開始、病棟再編成
		4月	2階西病棟休床
		9月	CRシステム稼動
	平成16年	3月	新医事システム稼動、急性期入院加算届出辞退
		4月	「第3次経営改善計画」スタート
		10月	共同利用型病床届出
	平成17年	4月	初診料特定療養費の変更（1,050円 → 1,575円）
		8月	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術届出

平成18年	2月	リストバンド運用開始
	4月	一般病棟入院基本料10対1
	7月	テレビ掲示システム導入
	8月	イントラネット（グループウェア）導入
	9月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価受審
	11月	デジタルX線テレビシステム更新
	12月	特定集中治療室（ICU）管理料施設基準辞退
平成19年	1月	7対1入院基本料届出、地域がん診療連携拠点病院指定
	2月	「看護管理センター」設置
	2月	NST稼働施設認定
	3月	64列マルチスライスCT導入
	4月	「第4次経営改善計画」スタート
	4月	テレパソロジーによる病理組織迅速顕微鏡検査開始
	7月	地域医療支援病院指定
	8月	病院機能評価（Ver.5.0）認定
	10月	開院50周年
	12月	新医療情報システム（オーダリング）稼働
平成20年	1月	AED設置（7台：各病棟・外来）
	3月	高エネルギー放射線治療装置導入 （シーメンス社製 PRIMUS Mid-Energy M2-6745）
	4月	産婦人科医1人体制へ
	7月	救急科開設
	10月	病院敷地内全面禁煙
	12月	内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎間板摘出（切除術）開始
平成21年	3月	佐賀県災害派遣医療チーム（佐賀県DMAT）指定病院へ指定 DPC算定開始 地域救命救急センター設置（認定）
	7月	「ほほえみの会（がん患者会）」発足
平成22年	3月	循環器用血管造影装置更新
	4月	新医事システム（HOPE）稼働 光サーチシステム機器の更新 産婦人科医2人体制へ
	9月	佐賀県がん診療連携協議会スタート
	10月	「市民公開講座」の第1回目を開催
平成23年	1月	ホームページ全面リニューアル
	4月	救護活動市民報告会開催 （東日本大震災における唐津赤十字病院の救護班の活動報告会） 産婦人科医3人体制へ 小児科医5人体制へ 病理診断科開設 「病院建設推進室」設置 「フットケア外来」開設
	7月	フィルムレス用モニター部設置・稼働
	9月	第34回佐賀救急医学会
	10月	形成外科開設 フィルムレス用モニタ設置完了・全稼働
	11月	地域連携システム稼働
平成24年	1月	「ハートケア外来」開設
	2月	フィルムレス全運用開始
	3月	唐津赤十字病院NST公開講座「地域一体型の栄養サポートをめざして」 血管造影装置更新

I 病院の概況		4月	「臨床工学技術課」設置
		9月	新病院設計業者決定プロポーザル
		12月	新病院建設基本設計開始
	平成25年	2月	日本医療マネジメント学会（唐津）
		4月	「唐津赤十字病院経営計画」スタート
		6月	医療バランスト・スコアカード（BSC）導入開始
	平成26年	3月	生理検査部門システム導入 リハビリ管理システム導入
		6月	新病院移転新築工事起工式
	平成28年	4月	新病院引渡し式
		7月	新病院落成式
II 統計		8月	新病院開院（二太子地区→和多田地区） 〈28科 一般 300床 感染 4床 計 304床〉 電子カルテシステム稼働
	平成29年	3月	原子力災害拠点病院に指定
		4月	地域連携小児救急センター開設
		6月	病棟薬剤業務開始（全ての病棟で開始）
	平成30年	4月	歯科口腔外科開設
		9月	病院機能評価（3rdG:Ver.2.0）受審〔一般病院2〕
	平成31年	2月	病院機能評価（3rdG:Ver.2.0）認定〔一般病院2〕
	令和元年	8月	令和元年度佐賀豪雨災害への救護班派遣 （8月29日～8月30日、杵藤エリア）
		9月	令和元年度佐賀豪雨災害への看護師派遣 （9月7日～9月9日）
	令和2年	7月	令和2年7月豪雨災害への救護班派遣《人吉・球磨地域》 （第1班：7月8日～7月11日、第2班：7月17日～7月20日）
III 各部門の概況	令和3年	4月	肝胆膵外科、感染症内科を標榜開始（計31科）
	令和4年	3月	高エネルギー放射線治療装置更新 （バリアンメディカルシステムズ社製 TrueBeam）
		9月	「頭痛外来」開設
	令和5年	3月	血管造影X線診断装置更新（Azurion7 B12/12）
		4月	膠原病・リウマチ内科を標榜開始（計32科）
		7月	令和5年九州北部豪雨災害への看護師派遣《唐津市》 （7月14日～7月23日）
		10月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価受審
	令和6年	1～2月	令和6年能登半島地震への救護班派遣《七尾市》 （第1班：1月12日～1月27日、第2班：1月25日～1月29日、第3班：2月4日～2月9日）
		2月	令和6年能登半島地震への日赤災害医療コーディネートチーム派遣《能登町》 （2月14日～2月20日） 電子カルテシステム更新
		4月	「認知症外来」開設
IV 論文		12月	開発室を多目的室に用途変更 カルテ庫を作業室に変更 「認知症外来」を「ものの忘れ外来」に改称

2. 病院の概要

◇名称	唐津赤十字病院
◇所在地	佐賀県唐津市和多田2430
◇開設年月日	昭和32年10月15日
◇診療科目	内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科 糖尿病内科、腎臓内科、腫瘍内科、感染症内科、膠原病・リウマチ内科 小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、肝胆膵外科、整形外科 脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科 リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、形成外科 精神科、歯科口腔外科 32科
◇特殊医療施設	・臨床研修病院（基幹型・九大協力型・佐大協力型） ・地域がん診療連携拠点病院 ・地域医療支援病院 ・地域救命救急センター 16床 ・無菌治療室 4床 ・血液透析室 11床 ・無菌手術室 1室 ・感染症病床 4床 ・共同利用型病床 5床 ・外来化学療法室 21床 ・佐賀県緊急医療施設（管理受諾）
◇救急・災害等	地域救命救急センター 救急告示病院 地域災害拠点病院（地域災害医療センター） 第二種感染症指定医療機関 原子力災害拠点病院 HIV感染症に関する地域中核医療機関 地域連携小児救急センター
◇高額医療機器	64列・320列マルチスライスCT、血管造影装置（一般、心臓カテーテル用） RI（シンチレーションカメラ）、ライナック（高エネルギー放射線治療装置） MRI（Gyrosan Intera 1.5T、3.0T） 体外衝撃波腎・尿管結石破碎装置
◇許可病床数	304床（一般 300床、感染症 4床）
◇敷地面積	28,900㎡（市有地無償貸与）
◇延べ床面積	28,173.29㎡ 本館（鉄筋コンクリート造7階建） 23,303.19 ㎡ エネルギー棟（鉄筋コンクリート造2階建） 806.18 ㎡ マニホールド（鉄筋コンクリート造平屋建） 21.00 ㎡ 立体駐車場（鉄骨造3階建） 4,042.92 ㎡
◇駐車場	641台

◇施設基準	<p> 歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準 歯科外来診療環境体制加算1 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1） 総合入院体制加算3 救急医療管理加算 超急性期脳卒中加算 診療録管理体制加算2 神経学的検査 コンタクトレンズ検査料I 小児食物アレルギー負荷検査 画像診断管理料加算2 CT撮影及びMRI撮影 冠動脈CT撮影加算 外傷全身CT加算 心臓MRI撮影加算 乳房MRI撮影加算 小児鎮静下MRI撮影加算 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 外来化学療法加算1 無菌製剤処理料 心大血管疾患リハビリテーション料（I）初期加算 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）初期加算 運動器リハビリテーション料（I）初期加算 呼吸器リハビリテーション料（I）初期加算 がん患者リハビリテーション料 人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1） 導入期加算1 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。） 緊急整復固定加算及び緊急挿入加算 椎間板内酵素注入療法 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用） 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独） 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（MRIによるもの） ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後） 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）等 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 大動脈バルーンパンピング法（IABP法） 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方） 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの） 腹腔鏡下肝切除術（部分切除、外側区域切除） 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 内視鏡的逆流防止粘膜切除術 バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 内視鏡的小腸ポリープ切除術 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術 膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術（鼠径部切開によるもの） 医科点数表第2章第10部手術の通則16に掲げる手術 輸血管理料I 輸血適正使用加算 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 麻酔管理料（I） 放射線治療専任加算 外来放射線治療加算 高エネルギー放射線治療 1回線量増加加算 </p>
-------	--

◇施設基準	<p> 画像誘導放射線治療（IGRT） 体外照射呼吸性移動対策加算 定位放射線治療 定位放射線治療呼吸性移動対策加算 病理診断管理加算Ⅰ 悪性腫瘍病理組織標本加算 看護職員処遇改善評価料57 外来・在宅ベースアップ評価料 入院ベースアップ評価料58 酸素の購入単価に関する届出 特別の療養環境の提供（特別室）の届出 180日超特定療養費 病床数が200床以上の病院等について受けた初診・再診の実施（変更）報告書 医師事務作業補助体制加算Ⅰ（20対Ⅰ） 急性期看護補助体制加算（25対Ⅰ）夜間100対Ⅰ急性期看護補助体制加算 夜間看護体制加算 看護補助体制充実加算Ⅰ 療養環境加算 重症者等療養環境特別加算 無菌治療室加算Ⅱ 栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算Ⅰ（医療安全対策地域連携加算Ⅰ） 感染対策向上加算Ⅰ 告示注Ⅱ（指導強化加算） 患者サポート体制充実加算 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 ハイリスク妊娠管理加算 後発医薬品使用体制加算Ⅱ 病棟薬剤業務実施加算Ⅰ 病棟薬剤業務実施加算Ⅱ データ提出加算Ⅱイ 入退院支援加算Ⅰ（入院時支援加算） 認知症ケア加算Ⅱ せん妄ハイリスク患者ケア加算 精神疾患診療体制加算 地域医療体制確保加算 救命救急入院料Ⅲ 告示注Ⅲ、注Ⅶ（小児加算） ハイケアユニット入院医療管理料Ⅱ 小児入院医療管理料Ⅲ 入院食事療養（Ⅰ） 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時管理料 クラウンブリッジ維持管理料 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科） 心臓ペースメーカー指導管理料の注Ⅴに規定する遠隔モニタリング加算 糖尿病合併症管理料 がん性疼痛緩和指導管理料 がん患者指導管理料イ がん患者指導管理料ロ がん患者指導管理料ハ がん患者指導管理料ニ 地域連携小児夜間・休日診療料Ⅰ 糖尿病透析予防指導管理料 二次性骨折予防継続管理料Ⅰ 二次性骨折予防継続管理料Ⅲ 外来放射線照射診療料 外来腫瘍化学療法診療料Ⅰ ニコチン依存症管理料 開放型病院共同指導料 がん治療連携計画策定料 肝炎インターフェロン治療計画料 </p>
-------	---

<p>◇施設基準</p>	<p>ハイリスク妊産婦連携指導料 1 薬剤管理指導料 医療機器安全管理料 1 医療機器安全管理料 2 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料 持続血糖測定器加算（連動する）及び皮下連続式グルコース測定 持続血糖測定器加算（連動しない）及び皮下連続式グルコース測定 遺伝学的検査 先天性代謝異常症検査 BRCA1/2遺伝子検査 HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ） 検体検査管理加算（Ⅳ） 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト ヘッドアップティルト試験</p>
<p>◇認定施設一覧</p>	<p>日本内科学会認定医制度教育病院 日本循環器学会循環器専門医研修施設 日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本血液学会認定血液研修施設 日本消化器外科学会専門医修練施設 日本呼吸器外科学会関連修練施設 日本整形外科学会専門医制度研修施設 日本脳卒中学会認定研修教育病院 日本脳神経外科学会専門医訓練施設 日本眼科学会専門医制度研修施設 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 放射線科専門医修練協力機関 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 日本臨床細胞学会認定施設 日本病理学会研修登録施設 日本消化器病学会関連施設 日本消化器内視鏡学会指導施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設 日本乳癌学会認定施設 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設 日本高血圧学会専門医認定施設 マンモグラフィー検診施設画像認定証 日本心血管インターベンション治療学会の研修関連施設 日本呼吸器内視鏡学会認定施設 日本臨床腫瘍学会認定研修施設（特別連携施設） 日本呼吸器学会認定施設 日本小児循環器学会認定小児循環器専門医修練施設 日本糖尿病学会専門医認定教育関連施設 日本胆道学会指導施設 日本小児科学会 小児科専門医研修施設 日本皮膚科学会認定専門医研修施設 日本泌尿器科学会 専門医教育施設 拠点教育施設 日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設 日本脳卒中学会一次脳卒中センター 日本臨床腫瘍学会認定研修施設 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設 日本てんかん学会研修施設 日本内科学会・日本専門医機構 内科専門研修プログラム認定施設 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定 （インプラント実施施設、エキスパンダー実施施設） 日本輸血・細胞治療学会認定指定施設 日本透析医学会認定 教育関連施設 日本肝臓学会認定施設（特別連携施設） 日本医学放射線学会画像診断管理認証施設</p>

3. 病床数

(1) 許可病床数

項目	区分	病 床 数
種別	一 般 病 床	3 0 0 床
	感 染 症 病 床	4 床
合 計		3 0 4 床

(2) 病棟別病床数

病棟	区分	許可病床数	実動病床数	主な診療科等
地域救命救急センター (3階南)		16床	16床	救 急 科 重症混合病床 (内科系・外科系)
3階西		40床	40床	脳 神 経 外 科 内 科 系 (腎臓・糖尿病) (脳 神 経 内 科) 眼 科
4階東		25床	25床	産 婦 人 科 女性混合病床 (内科系・外科系)
4階西		42床	42床	混 合 病 床 (内科系・外科系) 感 染 症 内 科 形 成 外 科 皮 膚 科
4階南		15床	15床	小 児 科
	※感染症病室4床を含む			
5階東		42床	42床	整 形 外 科 泌 尿 器 科
5階西		40床	40床	外 科 系 (消化器・呼吸器) (乳 腺・肝 胆 膵) 肝 臓 内 科
6階東		42床	42床	内 科 系 (消化器・血液)
	※無菌室4床含む			
6階西		42床	42床	内 科 系 (循環器・呼吸器)
	※陰圧室2床含む			
合 計		304床	304床	

※内科系（内科・糖尿病内科・腎臓内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・血液内科・脳神経内科・肝臓内科・感染症内科）

※外科系（消化器・一般外科・呼吸器外科・乳腺外科・肝胆膵外科
整形外科・脳神経外科・泌尿器科・形成外科・皮膚科・歯科口腔外科）

4. 組織図

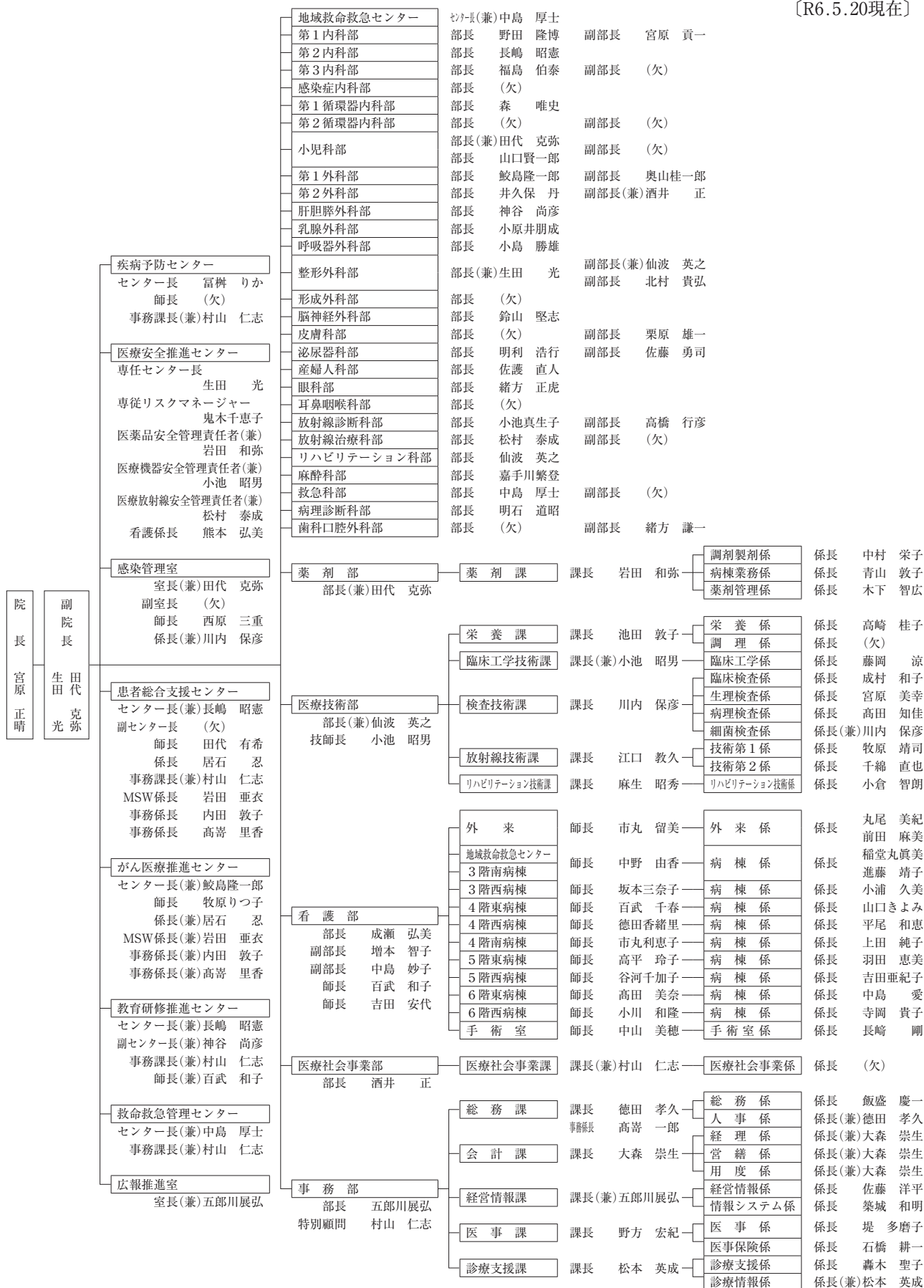
〔R6.5.20現在〕

I 病院の概況

II 統計

III 各部門の概況

IV 論文



5. 職員の状況

令和7年3月31日現在

	全職員	正職員	常 嘱	臨 時	非常嘱	パート
医師	88	68	19			1
医師	68	66	1			1
レジデント	6		6			
研修医	9		9			
嘱託医師						
県派遣	5	2	3			
看護師	332	305	17			10
助産師	12	11				1
看護師	320	294	17			9
准看護師						
コメディカル	88	86	1			1
薬剤師	16	16				
検査技師	20	18	1			1
放射線科技師	16	16				
臨床工学技士	5	5				
管理栄養士	5	5				
理学療法士	11	11				
視能訓練士	2	2				
歯科衛生士	3	3				
マッサージ師						
言語聴覚士	4	4				
作業療法士	4	4				
公認心理師	2	2				
臨床心理士						
事務	69	33	33	1		2
県派遣						
事務	57	33	21	1		2
メディカルクラーク	12		12			
福祉職	39	13	21	2		3
社会福祉士	7	7				
介護福祉士						
ケアワーカー	32	6	21	2		3
その他	16	3	8	1		4
看護助手	1	1				
クラーク	3		3			
薬剤助手	3		3			
放射線科助手	4		2	1		1
検査技術課助手	1					1
調理師	2	2				
看護部事務補助者	1					1
看護サポーター	1					1
合 計	632	508	99	4		21

6. 土地・建物の概要

(1) 土地

敷地面積 28,900㎡

(2) 建物

名 称	構 造	階	床面積	用 途	建築年月日
本館	鉄筋コンクリート造	1	5,914.27㎡	総合受付・ガレリア・医事課・患者総合支援センター・外来診察室・中央処置室・放射線科・検査(生理)・内視鏡室・疾病予防センター・佐野講堂・コンビニ・患者ラウンジ・ＡＴＭ・院内保育所	H28.4.30
		2	4,818.61㎡	血液浄化センター・リハビリテーション・外来化学療法室・薬剤部・検査技術課・栄養課・医局・事務室・倉庫他	
		3	3,874.73㎡	病棟・手術室・中央材料室・MEセンター	
		4	3,145.71㎡	病棟	
		5	2,497.40㎡	病棟・看護部	
		6	2,497.40㎡	病棟	
		7	555.07㎡	搬送EVホール・設備機械室	
本館計			23,303.19㎡		
エネルギー棟	鉄筋コンクリート造	1	607.24㎡	中央監視室・備蓄倉庫・電気室・医療ガス機械室・倉庫他	H28.4.30
		2	198.94㎡	自家発電機室・廃棄物庫等	
エネルギー棟計			806.18㎡		
マニホール	鉄筋コンクリート造	1	21.00㎡	マニホール	H28.4.30
マニホール計			21.00㎡		
立体駐車場	鉄骨造	1	1,010.76㎡	駐車場	H28.5.17
		2	1,516.08㎡	駐車場	
		3	1,516.08㎡	駐車場	
立体駐車場計			4,042.92㎡		
延べ床面積 合計			28,173.29㎡		

7. 施設案内図

病棟編成

7 階	ヘリポート			
6 階	6階西病棟 内科系 (循環器・呼吸器) 42床 ※陰圧室 2 床含む	CW控室 学生控室	6階東病棟 内科系 (消化器・血液) 42床 ※無菌室 4 床含む	
5 階	5階西病棟 外科系 (消化器・呼吸器) (乳腺・肝胆膵) 肝臓内科 40床	看護管理センター 医療安全推進センター 感染管理室	5階東病棟 整形外科 泌尿器科 42床	
4 階	4階西病棟 混合病床 (内科系・外科系) 感染症内科 形成外科 皮膚科 42床	産婦人科外来	4階東病棟 産婦人科 女性混合病床 (内科系・外科系) 25床	4階南病棟 小児科 15床 ※感染症病床 4 床含む
3 階	3階西病棟 脳神経外科 内科系 (腎臓・糖尿病) (脳神経内科) 眼科 40床	手術室 6 室 ※無菌手術室 1 室含む	3階南病棟 (地域救命救急センター) 救急科 重症混合病床 (内科系・外科系) 16床	
2 階	事務室 職員ラウンジ 会議室 医局 SPD カルテ庫	リハビリテーション技術課 薬剤部 栄養課 検査技術課 血液浄化センター 外来化学療法室	霊安室 当直室	
1 階	総合受付 外来 コンビニエンスストア 患者ラウンジ 院内保育園 佐野講堂	ガレリア 患者総合支援センター がん医療推進センター 疾病予防センター 医事課 生理検査室	内視鏡室 中央処置室 放射線科 守衛室 救急外来 小児救急センター	

※内科系 (内科、糖尿病内科、腎臓内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、脳神経内科、肝臓内科、感染症内科)

※外科系 (消化器・一般外科、呼吸器外科、乳腺外科、肝胆膵外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、歯科口腔外科)

I
病院の概況II
統計III
各部門の概況IV
論文

8. 主要医療機器

機器名	数量	設置場所	取得年月日
一般X線撮影装置 (RADREX (KXO-80 S 型))	1	放射線 技術課	平成23年 9 月30日
放射線治療計画装置 (エレクタ Xio)	1		平成26年11月30日
核磁気共鳴画像診断装置MRI (3.0T)	1		平成28年 7 月11日
骨密度測定装置 (Horizon-Wi)	1		平成28年 7 月29日
X線コンピュータ断層撮影装置CT (320列)	1		平成28年 8 月 1 日
X線TV撮影システム (ZEXIRA)	1		平成30年 3 月28日
X線TV撮影システム (Ultimax-i)	1		平成30年 5 月28日
核磁気共鳴画像診断装置MRI (1.5T)	1		令和元年 7 月11日
移動式X線撮影装置 (CALNEO AQRO)	1		令和元年 9 月14日
DRパネル CALNEO Smart S77	1		令和元年 9 月14日
治療計画装置 (Xio to Monaco)	1		令和 2 年 5 月28日
治療計画MU評価システム装置 (RadCalc)	1		令和 2 年 5 月28日
角度可変 2 検出器型ガンマカメラ (Symbia EvoExcel)	1		令和 2 年 7 月31日
リファレンス線量計 (RAMTEC Duo)	1		令和 2 年11月30日
全身用X線80列CT装置 (TSX-303B/6A)	1		令和 2 年12月12日
富士フイルム電動式立位撮影装置 (CALNEO PU C)	1		令和 3 年 2 月26日
ガンマーポジショニングシステム (Navigator2.0)	1		令和 3 年11月 8 日
X線線量管理システム	1		令和 4 年 1 月19日
高精度放射線治療システム (TrueBeam)	1		令和 4 年 3 月14日
3D画像解析システム (SYNAPSE VINCENT)	1		令和 4 年10月27日
血管造影X線診断装置 (Azurion7 B12/12)	1		令和 5 年 3 月 9 日
血管造影X線診断装置 (Azurion7 B20/15)	1		令和 6 年 3 月 2 日
バーチャルスライドシステム (C9600-50)	1	検査室	平成19年 4 月25日
自動血液・尿分析検査システム (シスメックス)	1		平成19年10月22日
循環器超音波診断装置 (iE33 Live3D)	1		平成23年10月31日
生理検査部門システム (H1-MEDIONシステム一式)	1		平成26年 3 月31日
超音波画像診断装置 (Aplio400 Platinum)	1		平成28年 3 月31日
血液培養装置バクテアラート 3D (BM-418887)	1		平成29年 6 月30日
自動細菌同定感受性検査装置バイテック 2 (SP026-W0452)	1		平成29年 6 月30日
超音波診断装置 (EPIQ Elite)	1		令和 2 年 5 月22日
感染防止機能付クリオスタット (CM1950)	1		令和 2 年10月23日
超音波診断装置 (Aplio a Verifia)	1		令和 2 年11月11日
核酸抽出装置 (magLEAD 12gC)	1		令和 2 年11月24日
細菌検査システム (ICONS21)	1		令和 2 年11月30日
全自動遺伝子解析装置 (ミュータスワコー g1)	1		令和 2 年12月23日
全自動遺伝子検査装置 (GeneXpertシステムG)	1		令和 3 年 2 月10日
EXIA増幅ユニット (M-L302)	1		令和 3 年 7 月 8 日
全自動輸血検査装置 (Erytra Eflexis)	1		令和 3 年 9 月10日
超音波画像診断装置 (LOGIQ E10s)	1		令和 4 年 3 月29日
全自動遺伝子検査装置 (FilmArray Torchシステム)	1		令和 4 年 8 月 8 日
全自動免疫測定装置 (HISCL-5000)	1		令和 5 年 3 月29日
汎用超音波画像診断装置 (LOGIQ Fortis)	1		令和 5 年 3 月31日
密閉式自動固定包埋装置 (PEGASUS Plus)	1		令和 6 年12月 3 日
Force Triad エネルギープラットフォーム	1	手術室	平成20年 9 月 2 日
手術室用モニター (BSM-5132 麻酔器対応)	1		平成21年 8 月27日
手術用顕微鏡 (S21)	1		平成12年 1 月31日
ハイビジョン外科用鏡視下システム (VISERA ELITE)	1		平成23年11月30日
外科用Cアーム (OEC Brio Essetial)	1		平成26年12月31日

機器名	数量	設置場所	取得年月日
超音波手術器（ソノベット UST-2001）	1	手術室	平成26年11月30日
眼科（網膜・硝子体／白内障）手術装置コンステレーションビジョン	1		平成28年 8 月 1 日
胆道ビデオスコープ（CHF-240）	1		平成20年 8 月20日
外科用Cアーム（BV-Endura R2.3）	1		平成28年12月30日
次世代電気手術器（VLFT10GEN）	1		平成30年 1 月30日
トリガーポイントハンドピース（Hall50）	1		平成30年 3 月31日
自動排煙装置クリスタルビジョン450D（ICM-450-000）	1		令和 2 年 7 月28日
インファウーマ i （23582）	1		令和 2 年 9 月24日
外科手術用 3D・IR内視鏡システム（VISERA ELITE2）	1		令和 2 年 9 月 1 日
超音波画像診断装置（Sonosite PX）	1		令和 4 年 9 月13日
超音波画像診断装置（S-Nerve L-07810）	1	麻酔科	平成25年11月 6 日
手術管理システム	1		令和 2 年 3 月 9 日
低温プラズマ滅菌システム（ステラッド100S）	1	中央材料室	平成26年 1 月18日
低温プラズマ滅菌システム（ステラッドNX）	1		平成28年 8 月 1 日
調剤支援システム（YUNICOM-GX）	1	薬剤部	令和 6 年 9 月29日
電子内視鏡システム（Q-260）	1	内視鏡	平成18年11月29日
大腸ビデオスコープ（PCF-Q260AI）	1		平成19年11月27日
超音波内視鏡システム（GF-UM2000）	1		平成24年 9 月30日
内視鏡ビデオシステム（VP-4450HD）	1		平成28年 8 月 1 日
上部消化管汎用ビデオスコープ（GIF-HQ290）	1		平成28年 8 月 1 日
上部消化管用経鼻スコープ（EG-L580NW7）	1		平成29年10月16日
カプセル内視鏡システム（PillCam）	1		平成29年10月16日
超音波内視鏡システム（EVIS LUCERA ELITE）	1		平成30年 3 月29日
気管支ビデオスコープ（BF-Q290）	1		令和 2 年 9 月30日
ベッドサイドモニタ（PVM-4761）	1		令和 3 年11月10日
ベッドサイドモニタ（PVM-4761）	1		令和 4 年 2 月25日
内視鏡マルチモニタリングシステム（WTW-DEAP708E等）	1		令和 7 年 2 月22日
血液浄化装置（JUN-55X）	1	血液透析室	平成20年 9 月30日
血液透析機器（DCS-100NX）	2		平成24年10月31日
血液透析機器（DCS-100NX）	7		平成28年 8 月 1 日
血液濾過用装置 CART（ADP-1）	1		平成29年11月30日
透析事業支援システム（STEPⅢ）	1		令和 2 年 3 月31日
超音波画像診断装置（FC1-X）	1		令和 2 年10月 7 日
血液浄化装置（TR2020）	1		令和 4 年 7 月 1 日
多用途透析液供給装置（DAB-50Si、DRY-50B）	1		令和 6 年 2 月18日
超音波診断装置（Xario200）	1	救急室	平成26年11月28日
血ガス分析装置（ABL90）	1		平成28年 7 月22日
超音波診断装置（M-Turbo）	1		令和 2 年10月15日
個人用透析監視装置（NCV-11 typeG）	2		令和 2 年12月 1 日
経皮的循環補助システム（キャピオックスPCPS）	1		令和 2 年12月21日
超音波画像診断装置（Venue Go）	1		令和 2 年12月25日
人工呼吸器（MONNAL T60）	1		令和 3 年 2 月24日
重症系ベッドサイドモニタ（CSM-1701）	1		令和 5 年 4 月20日
セントラルモニター 4 人用（CNS-6101）	1	救命	平成28年 8 月 1 日
ベッドサイドモニター（BSM-6701）	11		平成28年 8 月 1 日
血ガス分析装置（ABL 825 FILX）	1		平成27年 6 月30日
体温管理システム（Arctic Sun 5000）	1		令和 2 年 4 月 1 日
FPD搭載移動型X線装置（Sirius Starmobile tiara）	1		令和 3 年 2 月19日
セントラルモニタ16人用（CNS-6201）	1		令和 4 年 3 月28日
血液ガス分析装置（ABL835 FLEXPLUS）	1		令和 5 年 4 月18日
マンモトームシステム（LORAD Multi Care Platinum）	1	外科	平成22年 9 月21日
ハイビジョン外科用鏡視下システム（VISERA ELITE）	1		平成24年 9 月30日

I
病院の概況II
統計III
各部門の概況IV
論文

機器名	数量	設置場所	取得年月日
次世代電気手術器 (VLFT10GEN)	1	外科	平成30年 1 月30日
水圧式ナイフ (ERBE JET2 E123000)	1		令和 6 年 8 月22日
膀胱・腎盂軟性鏡ビデオスコープ (CYF-VHA)	1	泌尿器科	平成30年 1 月30日
経尿道的尿管結石破碎セット	1		令和元年 9 月26日
超音波診断装置 (ARIETTA 850SE)	1		令和 2 年10月15日
電気手術装置 (IEC3A-S30-90)	1	皮膚科	平成26年11月28日
超音波診断装置 (Affiniti50G)	1	小児科	平成29年 8 月31日
インファントウォーマー iLCD	1		平成29年10月13日
超音波診断装置 (Affiniti30)	1		令和元年 5 月31日
ネオテーブル (DS-30)	1		令和 2 年 9 月25日
分娩監視装置 (FM-20B)	1	産婦人科	平成26年10月31日
超音波診断装置 (Xario 200)	1		平成27年11月26日
超音波診断装置 (Xario 100)	1		平成28年 8 月 1 日
超音波診断装置 (Xario 100)	1		平成29年 2 月22日
超音波診断装置 (Affiniti 70W)	1		令和 2 年12月 7 日
超音波診断装置 (Aplio a Verifia)	1		令和 5 年 9 月27日
光干渉断層計 (OTC-HS100)	1	眼科	平成25年 7 月25日
マルチカラーレーザー／ヤグレーザーコンビ	1		平成26年11月30日
眼軸長測定システム (OA-2000)	1		平成30年 1 月30日
スペキュラーマイクロスコープ (Cellchek X8 Pセット)	1		令和 2 年 9 月24日
超音波画像診断装置 (UD-8000)	1		令和 3 年 5 月21日
走査型超広角眼底撮影装置 (CLARUS MODEL 700)	1		令和 6 年 7 月18日
開頭手術用ドリル (レジェンドシステム)	2	脳外科	平成20年 8 月12日
脳外科手術用顕微鏡 (OPMI Pentro)	1		平成23年 9 月30日
脳神経内視鏡システム (OTV-S7ProH-HD-12E)	1		平成25年 5 月 7 日
成分採血装置 (COM.TEC)	1	内科	平成21年 8 月27日
汎用超音波画像診断装置 (フィブロスキャン502)	1		平成24年12月31日
PD-OCTイメージングシステム (OPTIS Mobile)	1		平成30年 3 月27日
透視下・内視鏡下脊椎手術システム	1	整形外科	平成22年 9 月28日
低侵襲手術システム	1		平成25年11月30日
脊椎用ハンドピース (ソノペット)	1		平成28年11月30日
12人用モニターリングシステム (PU-611R)	1	3階西病棟	平成30年 1 月29日
ベッドサイドモニター (PVM-4761)	1	4階南病棟	令和 2 年 9 月29日
セントラルモニタ (WEP-1400)	1	4階西病棟	令和 3 年 7 月27日
分娩監視装置 (FM-20N)	1	4階東病棟	令和 2 年11月12日
ベッドサイドモニター (PVM-4761)	1	5階西病棟	令和 3 年 9 月27日
セントラルモニタ (2人用) (WEP-4202)	1	5階東病棟	平成23年10月31日
セントラルモニタ (CNS-2101)	1	6階西病棟	令和 6 年12月25日
医用テレメータ (8人用) (WEP-5218)	1	6階東病棟	平成24年 9 月30日
ベンチレータ980 (PB980 type S)	3	臨床工学	令和 2 年10月30日

9. 令和6年度医療施設特別会計歳入歳出決算書

I. 収益的収入及び支出

(単位：円)

項目	区分	令和6年度 予算額※	令和6年度 決算額	対予算比 (%)	備 考
病院収益		10,230,416,000	9,593,093,403	▲ 6.2	※当初予算額に補正 予算額を加えた額
医業収益		9,484,096,000	9,023,254,759	▲ 4.9	
入院診療収益		6,426,490,000	5,987,567,728	▲ 6.8	
外来診療収益		2,886,321,000	2,852,466,079	▲ 1.2	
その他医業収益		197,286,000	203,187,171	3.0	
保険等査定減		▲ 26,001,000	▲ 19,966,219	▲ 23.2	
医業外収益		715,320,000	544,024,781	▲ 23.9	
医療社会事業収益		1,000,000	0	—	
特別利益		30,000,000	25,813,863	▲ 14.0	
収益的収入合計		10,230,416,000	9,593,093,403	▲ 6.2	
病院費用		10,377,403,000	9,410,077,214	▲ 9.3	医業費用対医業収益負荷率 103.0%
医業費用		10,233,258,000	9,297,213,890	▲ 9.1	
医業外費用		60,035,000	56,883,037	▲ 5.3	
医療奉仕費用		21,602,000	8,941,239	▲ 58.6	
特別損失		52,000,000	41,201,585	▲ 20.8	
法人税等		6,508,000	5,837,463	▲ 10.3	
予備費		4,000,000	0	—	
収益的支出合計		10,377,403,000	9,410,077,214	▲ 9.3	
当期純利益（損失）		▲ 146,987,000	183,016,189	—	

II. 資本的収入及び支出

(単位：円)

項目	区分	令和6年度 予算額※	令和6年度 決算額	予算対比 (%)	備 考
病院収入		685,476,000	571,906,731	▲ 16.6	※当初予算額に補正 予算額を加えた額
固定負債		31,000,000	12,718,050	▲ 59.0	
その他資本収入		654,476,000	559,188,681	▲ 14.6	
資本的収入合計		685,476,000	571,906,731	▲ 16.6	
病院費		685,476,000	571,906,731	▲ 16.6	
固定資産		225,277,000	207,744,064	▲ 7.8	
借入金等償還		460,199,000	364,162,667	▲ 20.9	
資本的支出合計		685,476,000	571,906,731	▲ 16.6	

10. 令和7年度医療施設特別会計歳入歳出予算概算書

I. 収益的収入及び支出

(単位：円)

項目	区分	令和6年度 予算額	令和7年度 予算額	対前年度比 (%)	備 考
病院収益		10,230,416,000	9,903,355,000	▲ 3.2	※当初予算額に補正 予算額を加えた額
医業収益		9,484,096,000	9,377,811,000	▲ 1.1	
入院診療収益		6,426,490,000	6,231,000,000	▲ 3.0	
外来診療収益		2,886,321,000	2,963,520,000	2.7	
その他医業収益		197,286,000	207,320,000	5.1	
保険等査定減		▲ 26,001,000	▲ 24,029,000	▲ 7.6	
医業外収益		715,320,000	525,524,000	▲ 26.5	
医療社会事業収益		1,000,000	0	—	
特別利益		30,000,000	20,000	▲ 99.9	
収益的収入合計		10,230,416,000	9,903,355,000	▲ 3.2	
病院費用		10,377,403,000	9,894,426,000	▲ 4.7	医業費用対医業収益負荷率 104.5%
医業費用		10,233,258,000	9,802,369,000	▲ 4.2	
医業外費用		60,035,000	54,529,000	▲ 9.2	
医療奉仕費用		21,602,000	12,355,000	▲ 42.8	
特別損失		52,000,000	12,000,000	▲ 76.9	
法人税等		6,508,000	3,173,000	▲ 51.2	
予備費		4,000,000	10,000,000	—	
収益的支出合計		10,377,403,000	9,894,426,000	▲ 4.7	
当期純利益（損失）		▲ 146,987,000	8,929,000	—	

II. 資本的収入及び支出

(単位：円)

項目	区分	令和6年度 予算額※	令和7年度 予算額	対前年度比 (%)	備 考
病院収入		685,476,000	711,053,000	3.7	※当初予算額に補正 予算額を加えた額
固定負債		31,000,000	130,000,000	319.4	
その他資本収入		654,476,000	581,053,000	▲ 11.2	
資本的収入合計		685,476,000	711,053,000	3.7	
病院費		685,476,000	711,053,000	3.7	
固定資産		225,277,000	258,890,000	14.9	
借入金等償還		460,199,000	452,163,000	▲ 1.7	
資本的支出合計		685,476,000	711,053,000	3.7	

11. 決算の推移（過去4か年）

(単位：円)

収益的收入及び支出

年度 項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	決算値	対前年度比 (%)	決算値	対前年度比 (%)	決算値	対前年度比 (%)	決算値	対前年度比 (%)
病院収益	10,100,512,413	5.0	10,578,524,126	4.7	9,636,557,919	▲ 8.9	9,593,093,403	▲ 0.5
医業収益	8,321,341,888	▲ 5.9	8,540,331,231	2.6	8,911,572,827	4.3	9,023,254,759	1.3
入院診療収益	5,507,269,651	▲ 9.9	5,688,619,982	3.3	5,887,282,232	3.5	5,987,567,728	1.7
外来診療収益	2,681,792,646	4.8	2,720,087,987	1.4	2,870,317,976	5.5	2,852,466,079	▲ 0.6
その他医業収益	158,140,059	▲ 20.9	157,448,225	▲ 0.4	177,997,301	13.1	203,187,171	14.2
保険等査定減	▲ 25,860,468	▲ 2.4	▲ 25,824,963	▲ 0.1	▲ 24,024,682	▲ 7.0	▲ 19,966,219	▲ 16.9
医業外収益	1,777,998,429	130.5	2,036,027,554	14.5	723,693,194	▲ 64.5	544,024,781	▲ 24.8
医療社会事業収益	898,824	135.0	0	▲ 100.0	0	—	0	—
特別利益	273,272	▲ 47.8	2,165,341	692.4	1,291,898	▲ 40.3	25,813,863	1,898.1
収益的收入合計	10,100,512,413	5.0	10,578,524,126	4.7	9,636,557,919	▲ 8.9	9,593,093,403	▲ 0.5
病院費用	9,148,539,769	▲ 2.0	9,723,350,879	6.3	10,161,562,893	4.5	9,410,077,214	▲ 7.4
医業費用	9,064,053,782	▲ 2.0	9,593,349,314	5.8	10,077,908,315	5.1	9,297,213,890	▲ 7.7
医業外費用	55,834,757	10.9	101,420,068	81.6	52,473,453	▲ 48.3	56,883,037	8.4
医療奉仕費用	18,075,182	▲ 25.8	22,099,758	22.3	20,547,770	▲ 7.0	8,941,239	▲ 56.5
特別損失	7,071,219	216.5	5,469,103	▲ 22.7	11,797,064	115.7	41,201,585	249.3
法人税等	3,504,829	▲ 55.2	1,012,636	▲ 71.1	▲ 1,163,709	▲ 214.9	5,837,463	▲ 601.6
収益的支出合計	9,148,539,769	▲ 2.0	9,723,350,879	6.3	10,161,562,893	4.5	9,410,077,214	▲ 7.4
医業収支	▲ 742,711,894	—	▲ 1,053,018,083	—	▲ 1,166,335,488	—	▲ 273,959,131	—
当期純利益（損失）	951,972,644	—	855,173,247	—	▲ 525,004,974	—	183,016,189	—

I 病院の概況

II 統計

III 各部門の概況

IV 論文

12. 院内委員会等組織表

令和6年12月1日

委員会等名称		委員長等	開催日程	庶務等				
院長	会議	幹部会議	院長 宮原正晴	月1回	総務課	幹部ミーティング		
		管理会議	院長 宮原正晴	月1回	総務課	院長 宮原正晴 毎 日 総務課		
		業務連絡会議	院長 宮原正晴	随 時	総務課			
		診療管理会議	医局長 福島伯泰	月1回	医局	医局ミーティング		
		看護師長会議	看護師長 成瀬弘美	月2回	看護部	院長 宮原正晴 週1回 医局秘書		
		医療技術部課長会議	医療技術部長 仙波英之	月1回	医療技術部	看護部長 成瀬弘美 月1回 看護部		
		事務部課長会議	事務部長 五郎川展弘	週1回	総務課	看護係長会議		
		病院運営協議会	(会長) 佐賀県副知事	年1回	経営情報課	看護部長 成瀬弘美 月1回 看護部		
		新型コロナウイルス対策本部	院長 宮原正晴	随 時	感染管理室			
管理・運営	委員会	診材物品等購入審査委員会	院長 宮原正晴	年1回以上	会計課	診療材料購入部会		
		防火・防災管理委員会 (災害対策委員会)	院長 宮原正晴	年2回	総務課	副院長 生田光 年4回 会計課		
		臨床研修委員会	院長 宮原正晴	年2回以上	教育研修推進センター			
		保険請求対策委員会	副院長 田代克弥	月1回	医事課			
		医学研究倫理委員会	副院長 田代克弥	随 時	医事課			
		臨床倫理委員会	医療技術部長 仙波英之	随 時	医事課			
		衛生委員会	事務部長 五郎川展弘	月1回	総務課			
		ハラスメント対策委員会	副院長 田代克弥	月1回	総務課			
		医療従事者等負担軽減委員会	院長 宮原正晴	隔 月	総務課			
		省エネルギー推進委員会	院長 宮原正晴	随 時	会計課			
		病床運営委員会	副院長 生田光	年1回	患者総合支援センター			
		病院機能評価受審委員会	副院長 生田光	随 時	経営情報課			
		脳死判定委員会	副院長	随 時	医療社会事業課			
		外来運営委員会	院長 宮原正晴	月1回	医事課			
		医療安全管理委員会	院長 宮原正晴	月1回	医療安全推進センター	医療安全管理専門小委員会		
		医療機器安全管理委員会	副院長 生田光	年1回	会計課	副院長 生田光 週1回 医療安全推進センター		
		医療事故調査委員会	院長 宮原正晴	随 時	医療社会事業課	リスクマネジメント検討会		
		院内感染対策委員会	副院長 田代克弥	月1回	感染管理室	副院長 生田光 月1回 医療安全推進センター		
		褥瘡対策委員会 (褥瘡対策チーム)	皮膚科副部長 栗原雄一	隔 月	医事課	静脈血栓塞栓症 (VTE) 対策ワーキンググループ		
		薬事審議会	薬剤部長 田代克弥	年6回	薬剤部	副院長 生田光 月1回 医療安全推進センター		
医療安全	委員会	医療ガス安全管理委員会	麻酔科部長 嘉手川繁登	年1回	会計課	客死急変時 (DNAR) 同意書作成ワーキンググループ		
		放射線安全委員会	放射線治療科部長 松村泰成	年1回	総務課	副院長 生田光 月1回 診療支援課		
		医療放射線安全管理委員会	放射線治療科部長 松村泰成	年1回	総務課			
		CT被ばく線量・プロトコル管理委員会	放射線治療科部長 松村泰成	年1回	放射線技術課			
		臨床検査管理委員会	病理診断科部長 明石道昭	年3回	検査技術課			
		輸血療法委員会	疾病予防センター長 富樫りか	隔 月	検査技術課			
		透析機器安全管理委員会	第2内科部長 長嶋昭憲	年1回	臨床工技術課			
		身体拘束最小化・認知症ケア委員会	副院長 生田光	月1回	経営情報課			
		栄養管理委員会	院長 宮原正晴	年4回	栄養課			
		救急・ICU運営委員会	副院長 生田光	月1回	救命救急管理センター			
		手術室運営委員会	手術部長 生田光	年2回	経営情報課			
		DPCコーディング委員会	副院長 田代克弥	隔 月	医事課			
		クリニカルパス委員会	副院長 生田光	月1回	診療支援課			
		診療情報管理委員会	第2内科部長 長嶋昭憲	隔 月	診療支援課			
		地域医療支援病院委員会	院長 宮原正晴	年1回	患者総合支援センター			
診療管理	委員会	地域がん診療連携拠点病院運営委員会	がん医療推進センター長 鮫島隆一郎	月1回	がん医療推進センター	がん臨床倫理カンファレンス		
		がん化学療法委員会	がん医療推進センター長 鮫島隆一郎	月1回	がん医療推進センター	がん臓器横断のカンファレンス		
		緩和ケアチーム委員会	乳腺外科部長 小原井朋成	隔 月	がん医療推進センター	緩和ケアチーム		
		NST委員会 (栄養サポートチーム)	肝胆脾外科部長 神谷尚彦	隔 月	栄養課	乳腺外科部長 小原井朋成 週1回 がん医療推進センター		
		糖尿病委員会	糖尿病内科医師 山崎孝太	月2回	看護師長			
		骨折リハビリテーション委員会	副院長 生田光	年1回	経営情報課	骨折リハビリテーションチーム		
		摂食嚥下機能向上委員会	脳神経外科部長 鈴木堅志	隔 月	リハビリテーション技術課	整形外科医師 坂本和也		
		口腔ケア委員会	歯科口腔外科副部長 緒方謙一	随 時	がん医療推進センター			
		患者サービス向上委員会	院長 宮原正晴	月1回	医療社会事業課			
		個人情報保護委員会	事務部長 五郎川展弘	随 時	医事課			
情報・サービス	委員会	情報システム／DX委員会	副院長 生田光	年4回	経営情報課			
		脳卒中相談窓口設置に関するワーキンググループ	脳神経外科部長 鈴木 堅志	隔 月	経営情報課			

Ⅱ 統計

1. 統計

(1) 入院患者延数・病床利用率・平均在院日数・1日平均入院患者数・入院診療単価

区分 年度	病床数 (床)	入院患者 延数 (人)	病床 利用率 (%)	平均在院 日数 (日)	実日数 (日)	1日平均入院 患者数 (人)	入院診療単価 (円)
令和4年度	304	83,111	69.1	11.9	365	227.7	68,350
令和5年度	304	93,559	77.8	12.4	366	255.6	62,749
令和6年度	304	96,488	80.8	13.1	365	264.4	62,063

(2) 外来患者延数・紹介患者数・紹介率・1日平均外来患者数・外来診療単価

区分 年度	外来患者 延数 (人)	紹介 患者数 (人)	紹介率 (%)	実日数 (日)	1日平均外来 患者数 (人)	外来診療単価 (円)
令和4年度	112,041	9,261	97.0	243	461.1	24,159
令和5年度	117,866	9,692	102.2	242	487.0	24,410
令和6年度	116,141	10,088	102.8	242	479.9	24,528

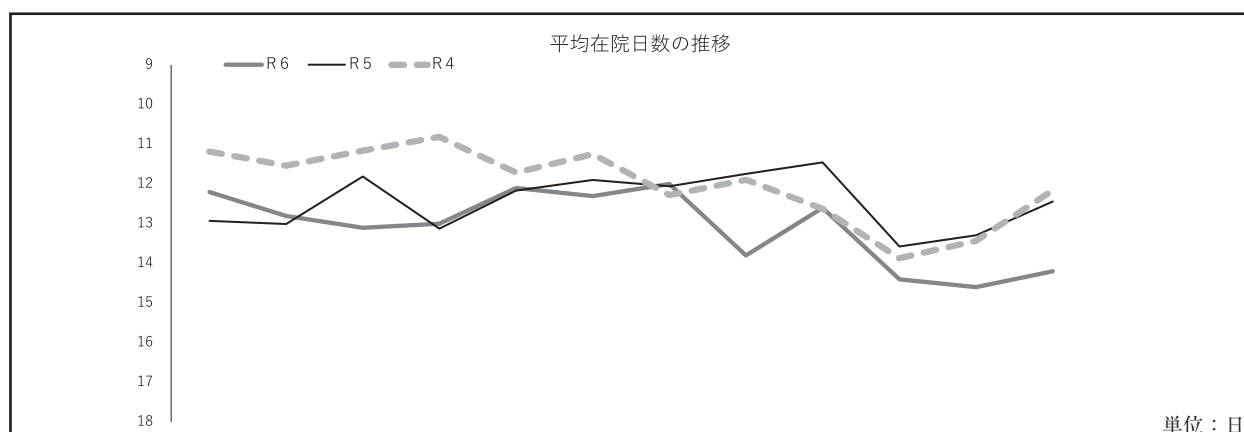
(3) 救急患者数

区分 年度	患者数 (人)	診療科別内訳							患者搬送別		
		内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	その他	救急車	ドクターヘリ	その他
令和4年度	10,882	3,110	4,879	560	535	377	167	1,254	2,394	23	8,465
令和5年度	13,867	3,122	7,455	671	759	426	145	1,289	2,639	34	11,194
令和6年度	12,980	3,104	6,650	621	922	325	112	1,246	2,637	10	10,333

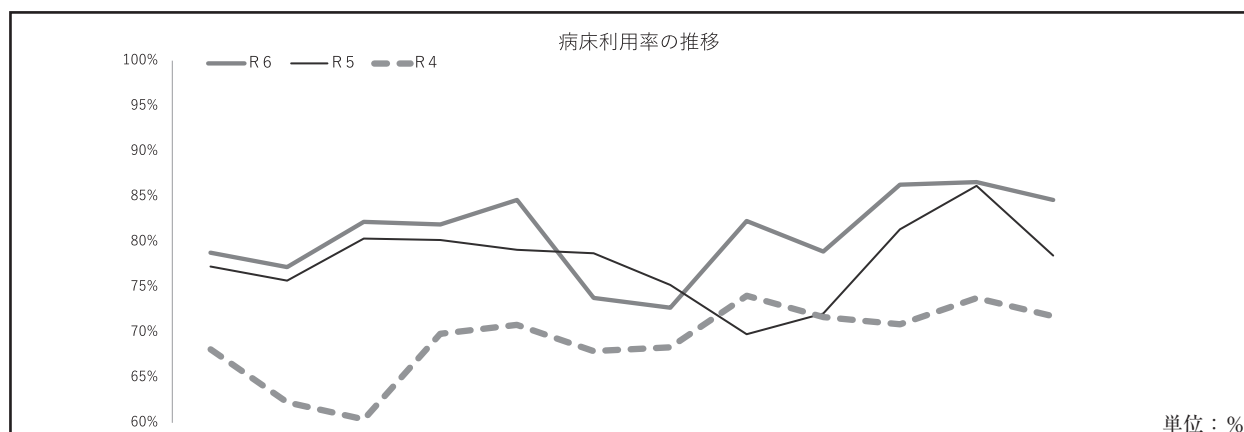
(4) 人間ドック受診者数

区分 年度	総受診者数 (人)	2日 ドック	1日 ドック	脳ドック	実日数	1日平均 受診者数	総稼働額 (円)
令和4年度	752	76	662	14	243	3.1	38,228,500
令和5年度	811	70	726	15	242	3.4	42,029,020
令和6年度	824	75	725	24	242	3.4	42,113,510

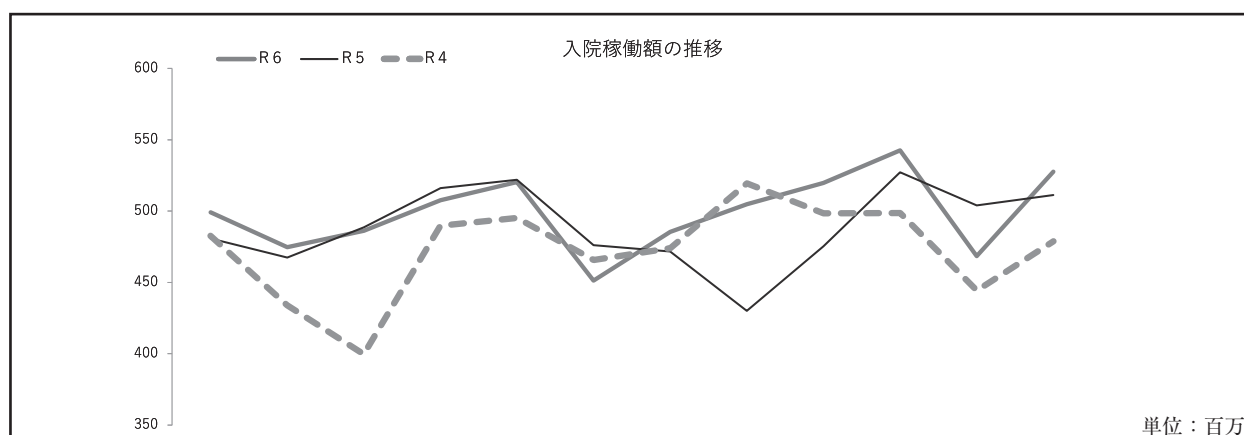
(5) 平均在院日数・病床利用率・入院稼働額の推移



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	11.2	11.5	11.2	10.8	11.7	11.2	12.3	11.9	12.6	13.9	13.4	12.2	11.9
令和5年度	12.9	13.0	11.8	13.1	12.2	11.9	12.1	11.7	11.5	13.6	13.3	12.4	12.4
令和6年度	12.2	12.8	13.1	13.0	12.1	12.3	12.0	13.8	12.6	14.4	14.6	14.2	13.1

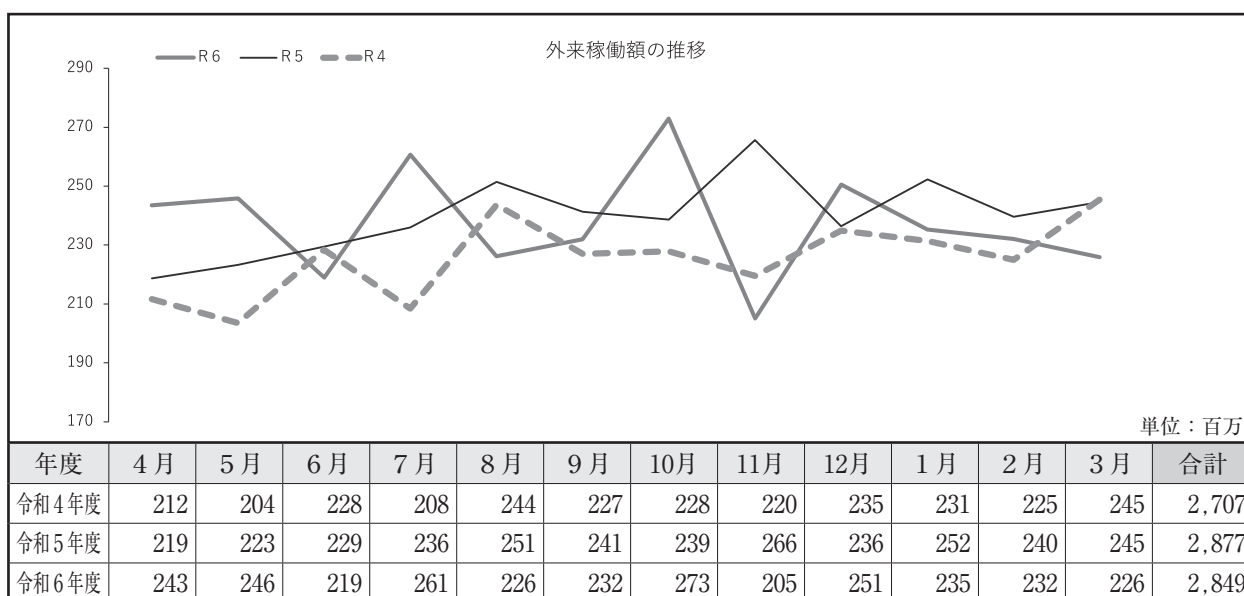
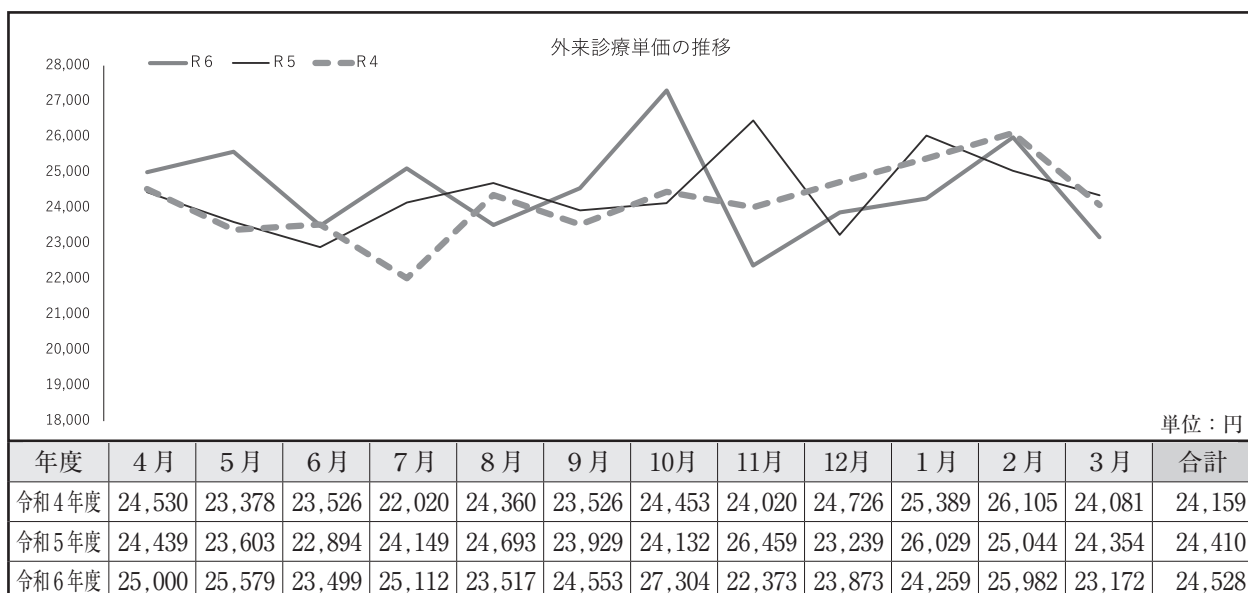
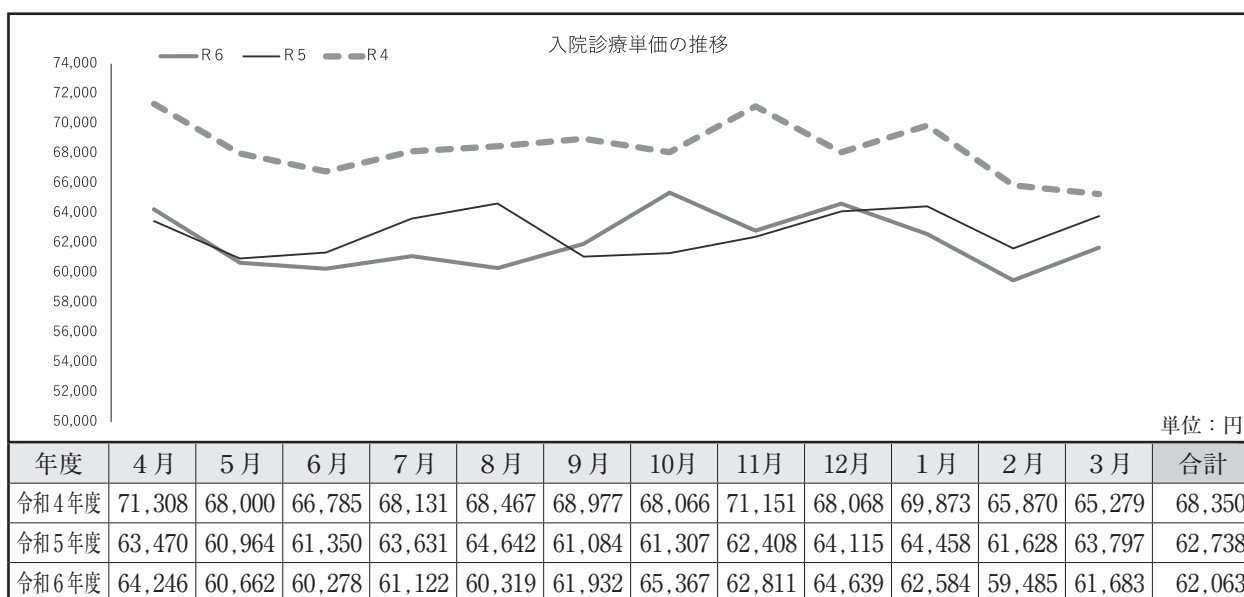


年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	68.1	62.2	60.4	69.8	70.8	67.9	68.3	74.0	71.7	70.9	73.8	71.8	69.1
令和5年度	77.2	75.7	80.3	80.2	79.1	78.7	75.2	69.8	72.1	81.4	86.2	78.5	77.8
令和6年度	78.8	77.2	82.2	81.9	84.6	73.8	72.7	82.3	78.9	86.3	86.6	84.6	80.8

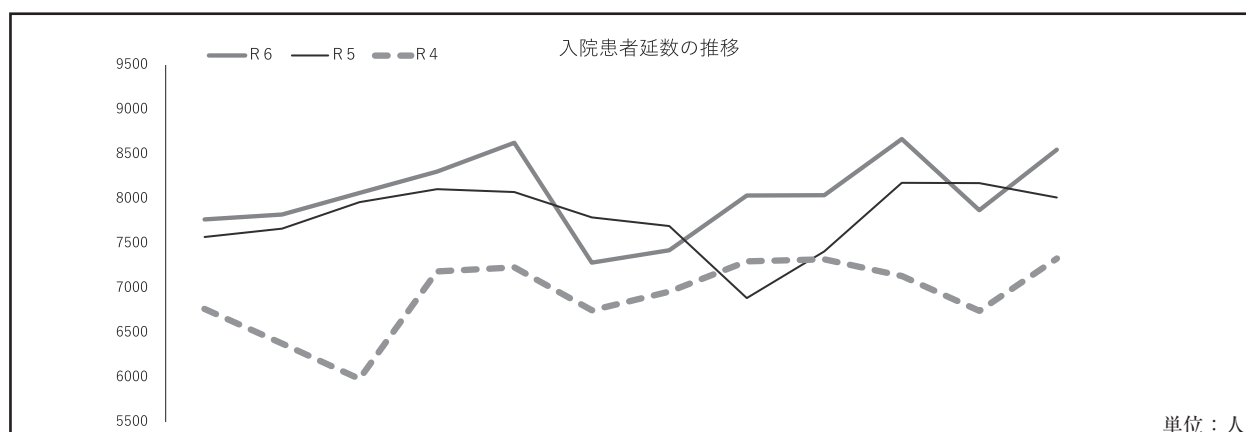


年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	483	434	400	490	495	466	474	519	499	499	444	479	5,681
令和5年度	481	467	489	516	522	476	472	430	475	527	504	511	5,871
令和6年度	499	475	486	508	520	451	485	505	520	543	468	528	5,988

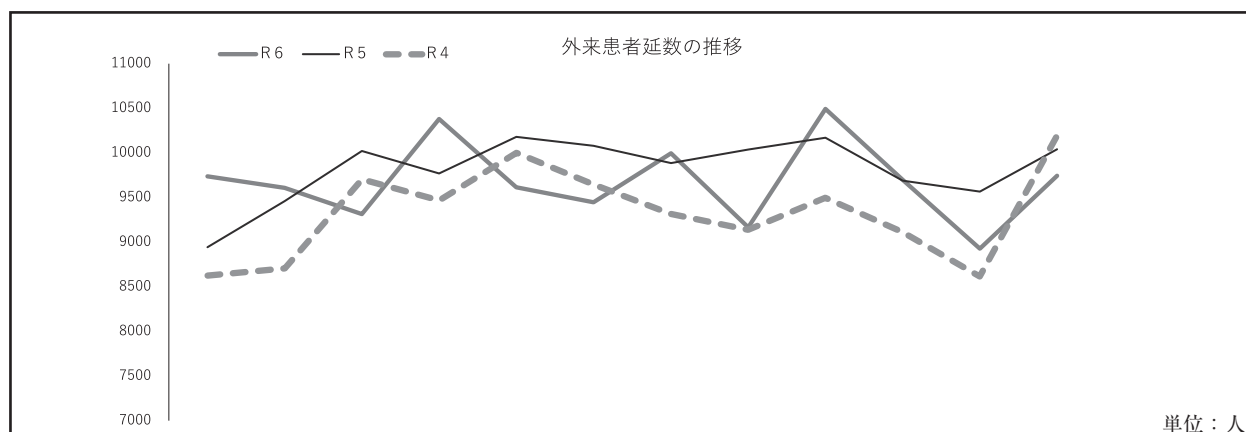
(6) 入院診療単価・外来診療単価・外来稼働額の推移



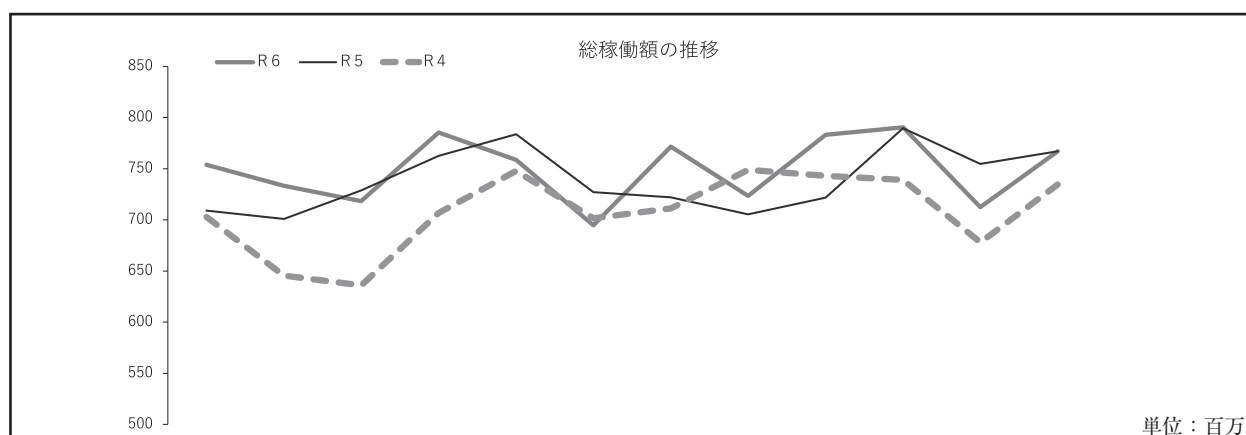
(7) 入院患者延数・外来患者延数・稼働額の推移



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	6,770	6,381	5,983	7,188	7,233	6,753	6,963	7,300	7,324	7,137	6,745	7,334	83,111
令和5年度	7,574	7,667	7,965	8,110	8,076	7,794	7,695	6,890	7,414	8,181	8,178	8,015	93,559
令和6年度	7,770	7,826	8,068	8,307	8,628	7,288	7,425	8,038	8,041	8,670	7,874	8,553	96,488



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	8,628	8,708	9,706	9,468	10,003	9,648	9,319	9,140	9,499	9,114	8,616	10,192	112,041
令和5年度	8,946	9,461	10,023	9,771	10,182	10,082	9,888	10,039	10,171	9,691	9,569	10,043	117,866
令和6年度	9,740	9,610	9,315	10,380	9,617	9,448	9,996	9,166	10,493	9,700	8,930	9,746	116,141



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	703	645	636	707	748	702	711	749	743	739	678	734	8,495
令和5年度	709	701	729	763	784	727	722	705	722	790	755	767	8,873
令和6年度	754	733	718	786	759	695	772	723	783	790	712	767	8,992

(8) 診療科別入院患者数 単位：人

科別 年度	内科	小児科	外科	整形外科 外科	脳神経 外科	皮膚科	泌尿 器科	産婦 人科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射 線科	麻酔科	救急科	形成 外科	歯科	合計
令和2年度	35,952	3,826	11,278	15,573	9,005	1,283	2,506	2,619	820	0	0	0	511	1,460	0	84,833
令和3年度	39,230	4,772	9,831	12,426	9,711	547	2,459	2,423	440	0	0	6	18	1,057	0	82,920
令和4年度	39,911	5,110	7,810	12,099	9,972	690	2,806	2,333	448	0	0	0	329	1,603	0	83,111
令和5年度	42,446	5,145	8,249	16,941	11,079	1,025	3,456	2,346	919	0	0	11	794	1,148	0	93,559
令和6年度	42,080	5,206	9,999	18,518	10,340	581	3,977	2,513	934	0	0	2	661	1,677	0	96,488

(9) 診療科別外来患者数 単位：人

科別 年度	内科	小児科	外科	整形外科 外科	脳神経 外科	皮膚科	泌尿 器科	産婦 人科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射 線科	麻酔科	救急科	形成 外科	歯科	合計
令和2年度	35,675	11,229	14,014	11,072	2,556	4,277	4,791	5,291	9,569	1,108	1,967	65	424	1,672	4,415	108,125
令和3年度	36,805	13,449	13,638	10,869	2,774	3,818	4,800	5,689	10,313	1,222	1,858	112	184	1,458	4,277	111,266
令和4年度	35,710	14,482	13,475	10,418	2,824	3,595	5,171	5,863	9,632	1,218	3,087	107	408	2,403	3,648	112,041
令和5年度	38,529	17,305	13,321	11,347	2,745	3,416	5,316	5,967	8,663	1,113	3,207	113	489	2,485	3,850	117,866
令和6年度	38,663	16,978	13,150	10,802	2,658	2,592	5,403	6,412	8,418	897	3,270	154	491	2,577	3,676	116,141

(10) 手術件数 単位：人

科別 年度	内科	小児科	外科	整形外科 外科	脳神経 外科	皮膚科	泌尿 器科	産婦 人科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射 線科	麻酔科	救急科	形成 外科	歯科	合計
令和2年度	1,157	23	928	945	196	214	224	240	502	4	0	11	56	196	1,260	5,956
令和3年度	1,274	23	927	861	203	140	198	229	528	8	1	22	33	279	1,173	5,899
令和4年度	1,175	23	765	854	204	116	263	227	444	7	0	18	49	461	1,140	5,746
令和5年度	1,540	13	793	1,108	185	128	286	274	525	10	0	24	40	309	1,019	6,254
令和6年度	1,618	18	833	1,101	156	71	337	282	553	12	0	25	52	307	992	6,357

(11) 令和6年度月別患者数（入院・外来）

区分 月	入 院				外 来		
	実日数 (日)	患者延数 (人)	1日平均 (人)	病床利用率 (%)	実日数 (日)	患者延数 (人)	1日平均 (人)
4月	30	7,770	259.0	78.8%	21	9,740	463.8
5月	31	7,826	252.5	77.2%	20	9,610	480.5
6月	30	8,068	268.9	82.2%	20	9,315	465.8
7月	31	8,307	268.0	81.9%	22	10,380	471.8
8月	31	8,628	278.3	84.6%	21	9,617	458.0
9月	30	7,288	242.9	73.8%	19	9,448	497.3
10月	31	7,425	239.5	72.7%	22	9,996	454.4
11月	30	8,038	267.9	82.3%	20	9,166	458.3
12月	31	8,041	259.4	78.9%	20	10,493	524.7
1月	31	8,670	279.7	86.3%	19	9,700	510.5
2月	28	7,874	281.2	86.6%	18	8,930	496.1
3月	31	8,553	275.9	84.6%	20	9,746	487.3
合計	365	96,488	264.4	80.8%	242	116,141	479.9

(12) 検査件数

項目別 年度	一般	生理	血液	生化学	血清 (免疫学的)	細菌 (微生物学的)	病理	合計
令和3年度	6,960	249,041	51,344	51,263	58,899	8,813	13,781	440,101
令和4年度	7,800	256,795	51,499	48,863	61,208	12,348	13,498	452,011
令和5年度	7,518	255,128	50,122	48,092	60,777	7,550	14,384	443,571
令和6年度	7,060	248,499	50,517	48,133	54,451	5,599	15,898	430,157

(13) 放射線撮影件数 単位：件

区分 年度	撮影	透視	CT	MRI	RI	血管 造影	心臓 カテ	放射線 治療	骨密度 測定	画像データ 取扱	合計	(再掲) 共同利用
令和4年度	39,631	1,147	13,299	4,552	382	130	192	10,088	885	6,125	76,431	681
令和5年度	43,548	1,306	14,021	5,068	404	132	237	10,468	1,035	6,857	83,076	782
令和6年度	42,407	1,341	13,951	4,689	419	108	158	9,278	1,055	7,007	80,413	731

※画像データ取扱：画像取込件数含む

(14) 給食件数 単位：件

区分 年度	常 食	軟菜食	特別食	合 計
令和4年度	73,284	41,978	72,611	187,873
令和5年度	76,877	46,983	88,422	212,282
令和6年度	64,912	47,902	105,298	218,112

(15) 薬剤業務数 単位：枚

(a) 調剤業務

区分 年度	調剤薬処方箋枚数			注射箋枚数			院外処方箋	
	外来	入院	合計	外来	入院	合計	枚数	発行率
令和3年度	4,947	60,072	65,019	19,769	67,249	87,018	59,755	92.35%
令和4年度	5,280	58,117	63,397	18,525	68,792	87,317	59,164	91.81%
令和5年度	4,576	67,050	71,626	19,464	75,600	95,064	63,659	93.29%
令和6年度	4,041	65,715	69,756	18,576	76,404	94,980	61,247	93.81%

(b) TPNの無菌調製

区分 年度	件数	本数
令和3年度	185	185
令和4年度	144	144
令和5年度	20	20
令和6年度	6	6

(c) 抗癌剤の無菌調製

区分 年度	件数	本数
令和3年度	3,955	6,525
令和4年度	4,020	6,408
令和5年度	4,351	7,098
令和6年度	3,987	6,147

(d) 院内製剤の調製

区分 年度	品目数
令和3年度	14
令和4年度	14
令和5年度	14
令和6年度	14

(e) その他

区分 年度	薬剤管理指導		錠剤鑑別 件数	薬剤情報 配信回数
	病棟数	件数		
令和3年度	9	6,589	34,812	66
令和4年度	9	6,088	33,738	86
令和5年度	9	6,438	39,063	106
令和6年度	9	6,334	39,173	108